

Edulution

令和6年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行
GIGAスクール通信 vol.12 (R6.10.28)
教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。



※県教育委員会ホームページのICT教育のバナーにアクセスしてください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/jouhoukeikaku.html>

電子黒板を使用した授業実践

令和6年9月9日に実施された東上総教育事務所による山武市立成東中学校への学校訪問にICT教育推進室員が同行し、電子黒板を使用した授業を参観しました。

成東中学校に電子黒板が設置されたのは夏季休業中とのこと。先生方は、電子黒板を使い始めて1週間ほどですが、皆さん上手に電子黒板を使いこなしていました。

今回は、参観した授業の様子、校長先生への質問および電子黒板の長所・短所を紹介します。

1 電子黒板を設置した教室



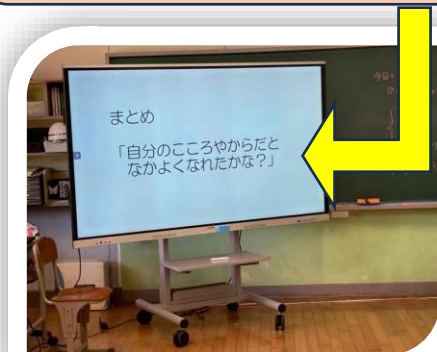
左側のホワイトボードに本時の学習課題が書かれており、常時確認することができます。

右側のホワイトボードには本時の授業の流れが書かれています。

特別支援学級は教室内の座席の配置に合わせて、電子黒板が動かせるように可動式のものが入っています。

黒板よりも電子黒板の方が小さい関係で、左右にホワイトボードを設置、常時提示しておきたいものを見せることができます。※教室前面に黒板はありません。

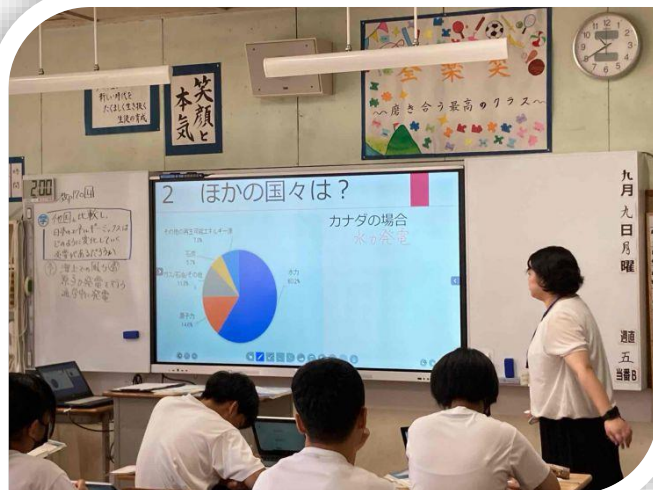
通常学級では電子黒板を支える台がないために、教師の動線を遮らずにモニターとして活用することができます。



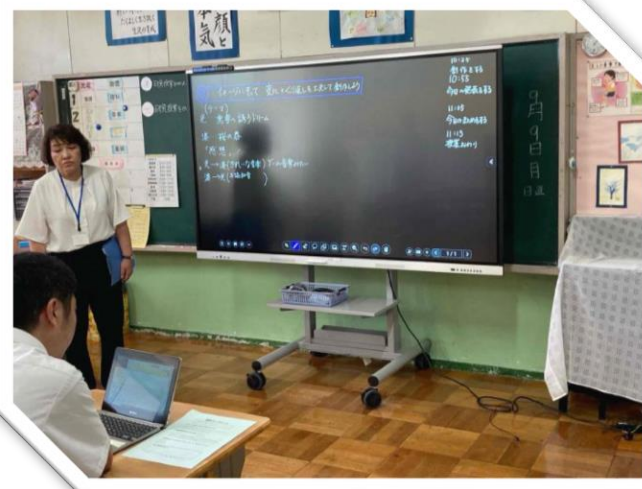
2 設置してから1週間でここまでできる！



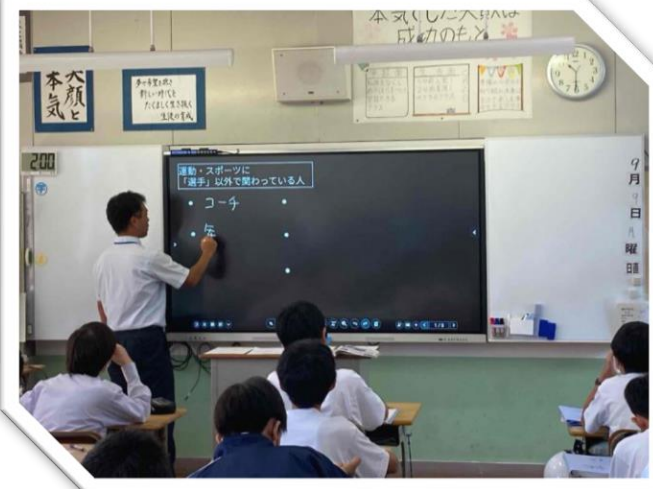
英語：フラッシュカードは不要



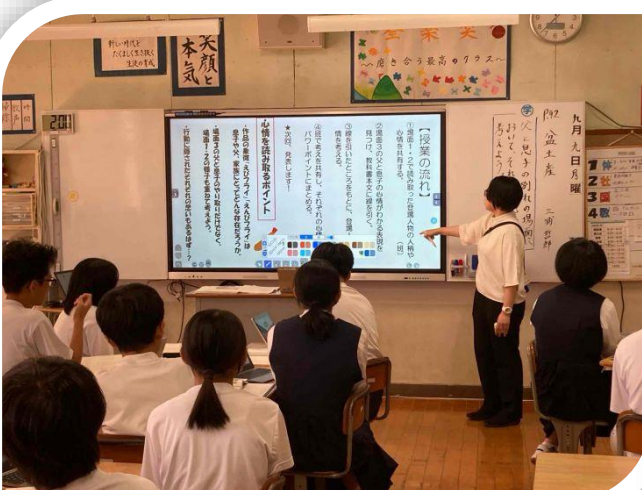
社会：図やグラフを大きくたくさん提示



音楽：端末で生徒が創作中



保体：通常の黒板として使用



国語：自作データを有効活用中



学活：生徒の画面を電子黒板に表示



道徳：心の変容を端末で確認

3 校長先生に伺いました



山武市立
成東中学校
永井 正見
校長

9月始めからの電子黒板導入にあたり、まずは6月から夏季休業にかけ、電子黒板の使用方法に関する研修を行いました。また、授業のあり方についても校内で議論を深めました。その結果、本校では本時の学習課題とまとめはいつでも見られるようホワイトボードに書くことを共通実践事項とし、電子黒板の有用性を生かした授業の方法については試行錯誤しながら探っていくこととしました。

導入してから1週間後に行われた教育事務所の訪問においては、「導入わずか1週間でこれだけの授業ができる」というお褒めの言葉をいただきました。さらに、「今後は電子黒板と1人1台端末を有効活用することにより生徒の考えを引き出すアウトプット型の授業を目指してほしい」との指導もいただきました。電子黒板をはじめとしたICT機器を効果的に活用して、思考力・表現力を伸ばす授業を各教科で展開できるよう、今後も学校全体で研修等の取組を進めてまいります。

電子黒板の長所・短所の確認

電子黒板を使うことが授業の目的にならないように、電子黒板について改めて確認しましょう。

【長所】

- 1 視覚的な学習が容易になる
- 2 より参加型の授業が可能
- 3 多機能な教材作成
- 4 効率的な時間管理
- 5 保存と再利用が可能

電子黒板



1人1台端末

【短所】

- 1 導入コストが高額
- 2 技術的トラブルによる授業の遅延
- 3 教員に活用のスキルが必要
- 4 授業の進行速度や内容過多
- 5 電源やインターネットへの依存

こんな実践例がありましたら情報提供をお願いします
学習指導課ICT教育推進室 Mail:kyict@mz.pref.chiba.lg.jp

情報活用能力の体系表を市町村や学校独自で作成し、活用している事例

特定分野に特異な才能のある児童生徒への指導例

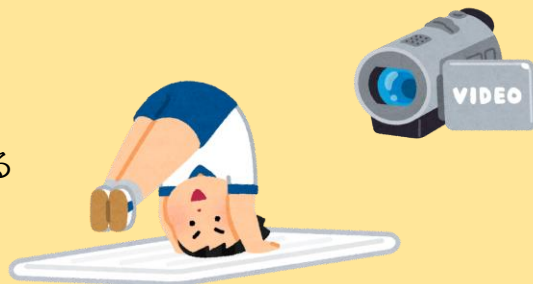
生成AIを校務や授業で活用している好事例

デジタル教科書を多くの教科で活用している指導例

【電子黒板が効果的に活用できる場面】

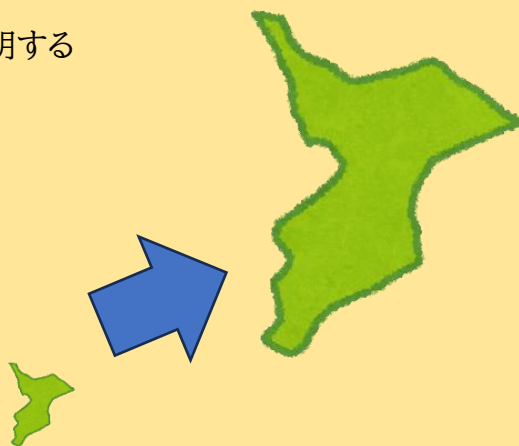
1. 授業内容を振り返る

- 前時の学習を振り返る
- デジタルカメラで撮影した動きを振り返る
- 前時の実験の過程を振り返り、本時の学習につなげる



2. わかりやすく説明する

- 書き込みながら説明する
- アニメーションで説明する
- 教科書の説明図を大きく提示し、書き込みをしながら説明する
- 文章だけではイメージが湧かない部分を写真で見せる
- デジタル教科書の地図を大きく提示して説明する



3. 明確に伝える

- 資料の図を大きく映し、着目するところを示す
- 教科書を大きく映して音読し、内容を読み取る
- ビデオを見せて、合わせ方のポイントを示す

4. 興味・関心を高める

- テレビ会議で実際に交流する
- 実物を拡大して比較する
- ビデオを映して興味関心を持つようにする

5. 実演でやり方を示す

- 教師の書き方を大きく映して指導する
- 先生の実演を実物投影機で提示する



6. 児童生徒に考えさせる

- 児童が考えたいくつかの解き方を比較して見せる
- 写真やイラストをじっくり見せて考えさせる
- 図形を動かして見せ、課題を明確につかませる

7. 児童生徒が発表する

- 自分で考えた問題を出し合う
- 児童がノートに書いた考え方を撮影して比較提示し、それぞれの考え方について話し合う
- 写真を見て考えたことを発表する
- ワークシートを提示して、解き方の過程を説明する

8. 知識・スキルを定着させる

- 図形描画ソフトを用いて円周角が等しいことを確認する
- ピクチャーカードを使って英単語を定着させる
- マスク機能で隠された単語を補いながら音読させ知識を定着させる

